

標 題

宍道湖西岸地区大区画ほ場整備に係る営農支援活動 その1
～5つの専門チームでバックアップ～

(ダイジェスト)

宍道湖西岸地区農村整備推進協議会（多久和修一会長、農家数626戸、整備面積456ha）では、今年度から始まる国営緊急農地再編整備事業について、昨年度末に策定した「宍道湖西岸地区営農計画（保存版）」に基づいた取り組みが確実に実行できるように、出雲市・JAしまね出雲地区本部・しまね農業振興公社・島根県の関係機関の職員で構成する5つの専門チームが連携し、計画的にバックアップすることとなりました。

出雲市の重点プロジェクトの1つであるこの事業について、宍道湖西岸農村整備推進協議会は、出雲市、JAしまね出雲地区本部、島根県東部農林振興センターと協力しながら昨年度末に事業完了後の構想である「宍道湖西岸地区営農計画（保存版）」を策定しました。

その計画の主なものは、①交付金等に頼らない高収益作物（小豆、ブロッコリー等）への転換、②ブロックローテーションによる水田の高度利用（2年3作）、③地元企業らと連携した6次産業化の推進、④地域農業をマネジメントする「宍道湖西岸サポートセンター」（仮称）の設立による先進的な水田農業の実現です。

この営農計画を確実に効率的に実現するためには、関係機関が密接に連携し、情報の共有化を図ると共に、地域が抱える個別課題について、地域の組織や個別経営体等と具体的な方策を共に考え実行する必要があります。

そこで、各関係機関から窓口担当者を設置すると共に、以下の5つの専門チームを編成することとなりました。また、5つの専門チームの連携のため、定期的に合同定例会議を開催し、関係機関が一体となって取り組んでいくこととしています。



◎専門チーム名と検討内容について

チーム名	検 討 内 容
サポートセンター	サポートセンターの設立・運営に関すること
農 産	米、麦、大豆及び小豆等の生産・販売に関すること
園 芸	ブロッコリー、青ネギ等の生産・販売に関すること
堆 肥	堆肥の供給・散布及び耕畜連携に関すること
集 積	農地の集積・集約の推進等に関すること

*活用事業名：国営緊急農地再編整備事業（平成30年～41年）